安全ミニ通信　毎月20日は安全の日!　2021年3月20日　発行　Vol　244

危険な足元は転倒災害を招く

お疲れ様です。
転倒は労働災害の中でも特に多く、骨折などの大きなケガに繋がりやすい。転倒を防ぐためには常に足元を意識することが大切なのぢゃ。そのためにもまずは災害事例を知り、足元への意識を高めていくのぢゃ！

①つまづきによる転倒災害事例

・作業場内を移動中、床にあったホースや通路を横切る配線につまづき転倒

→**手首の骨折、両膝の打撲**

・作業場内に放置された台車へ足を引っ掛け、反対の足で踏ん張ろうとしたが、踏ん張りきれずに転倒

→**右鎖骨の骨折**

②滑りによる転倒災害事例

・作業場へ移動中、水滴や油などで濡れた床に足を滑らせて転倒

→**後頭部打撲**

・作業後に冷凍室から退室する時、凍結した床に足を取られて転倒

→**首と腰の捻挫、打撲**

★転倒災害を防ぐために意識すること

①所定の位置から取り出した物を放置しない
➡所定の位置から物を取り出して使用した後は、置いたままにせず、元の場所へ戻しましょう。

②水滴や油などで濡れる床は定期的に清掃する
➡床が濡れた状態のままにせず、清掃して滑りやすい状態を作らないようにしましょう。

③歩き方を工夫する
➡滑りにくい場所ではつま先からではなく、踵（かかと）から足を下ろすことを意識しましょう。
滑りやすい場所では歩幅を小さめにして、足裏全体で着地するように心がけましょう。

状況によっては、転倒注意を促す箇所を通ることもあります。
足元の危険がないか確認することを日頃から心がけ、意識を高めましょう！

★今月の安全衛生川柳～

自己判断　「大丈夫だろう」　事故の元　　関東支店　スタッフさんの作品

※安全衛生川柳を募集しています。詳しくはトコトコランドをご覧ください。